


(別紙 12)

大学「人材育成強化科目」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	遊佐町役場
実習期間	令和 2年 2月 3日 ~ 令和 2年 2月 7日
学生氏名	高橋 一臣
実習プログラム	1日目・・・オリエンテーション、広報取材 2日目・・・空き家調査 3日目・・・町政策、課題等レクチャー、会議見学 4日目・・・まち協視察、ふるさと納税用務、エプロンサービスの説明等 5日目・・・町内施設・観光地等巡り、合併65周年記念事業実行委員会
学び・気づき (300字程度)	私は今回のターンシップで市職員にとって大切なことは何なのか、遊佐町ではどのようにして町の課題に取り組んでいるのかを学んだ。5日間遊佐町役場で仕事をさせていただいてわかったことはコミュニケーションの重要性、自分の意見を他人に伝えることの大切である。他の課の方や他の団体との話し合いなどが頻繁にあり、コミュニケーション力は本当に大事だなと実感した。また、会議の中で発言を求められる時が多く、自分が思ったことを人が大勢いる中で正確に伝えることができる力が必要になってくると思った。学校でも意見を言う機会があるので、そういった場所で発言していくことが市職員になることへつながっていくと思う。
今後に向けた抱負 (200字程度)	今後の抱負として地域のボランティア活動やサークル活動に積極的に参加をして、コミュニケーション力や発信力をつけていきたいと思う。職員の方々の仕事姿を見て、公務員試験の勉強も大事だがそればかりしていても市職員にはなれないと気付いたので、これからはたくさんの人とコミュニケーションを図り、力をつけて行って、人前でも緊張せずに自分の意見を伝えられるようにしていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	今回遊佐町役場の企画課ではおもに定住促進やふるさと納税、広報関係の仕事をさせていただいた。魅力的だったと思った部分はデスクワークだけではなくフィールドワークもたくさんすることだ。外に出て地域の方々に意見を聞いたり、課題について一緒に考えたりすることが多々あった。やることは多くて大変だが、いいかえれば同じ作業をばかりするのではなくていろいろなことをすることができるのが魅力だと思った。また地域の方や他の団体の人とのつながりができやすいことも良い点だ。人と人とのつながりは思わぬ時に良いほう方向につながる時があるのでとても良いことだと思う。
写真 (1~3点)	 <p>この写真は遊佐町の観光名所の丸池様という池である。池の中に木が落ちても水温が冷たく、腐らずに残る。とても神秘的で一度は行ってみたい場所である。</p>